

兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 9号)

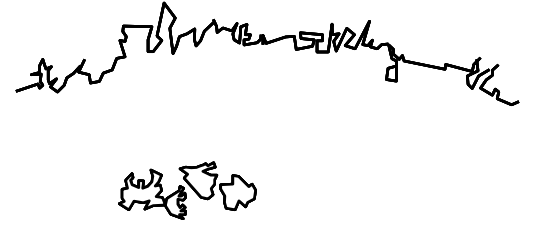
2020年12月25日発行
 兵庫のみ研究所

地先漁場では小型のキートセロスやスケルトネマを主体として数種の珪藻が多く発生しており、一部を除き窒素が低い状況となっています。一方、沖合漁場ではこれら珪藻は確認される程度と少なく、窒素は概ね $2 \mu\text{g-at/L}$ 台半ば～ $3 \mu\text{g-at/L}$ 台でした。

(栄養塩、珪藻)

小型珪藻のキートセロスやスケルトネマ、連鎖して肉眼視される筒状の珪藻（ギナルディア・デトヌラ）等数種が確認され発生量が増加している。室津漁場以外の地先海域全般にこれら珪藻が多く、窒素は低い値を示しておりリンもやや低下している漁場が一部見られた。一方、沖合海域ではこれら珪藻やコシノディスクラスについても、前回調査と比較し発生量は少なく確認される程度であった。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	2.9	1.3	3.3	0.5
	リン	0.67	0.44	0.45	0.37
家島・坊勢	窒素	3.3	3.0	5.8	5.0
	リン	0.64	0.62	0.66	0.75

(12/18) (12/25)

栄養塩 (窒素) 図

2020年12月25日調査

